

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2. 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(1) 母と子の健康づくり	記入者	今澤みつ子		
3. 施策の内容	(1) 子どもや母親の健康の確保				
4. 事業名	46 母子訪問指導事業				
5. 事業内容	対象者の家庭を訪問することで、より実生活に密着した保健指導を適切な時期に実施し、妊婦及び養育者の不安の軽減を図り、乳幼児の成長発達を促す。				
6. 事業番号(再掲含む)	46				
7. 現状と課題	対象者の状態から適切な時期に訪問し、必要に応じ継続的に訪問することにより、対象者の生活に寄り添う支援を実施している。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		訪問指導が必要な家庭への訪問実施率			
指標の名称(単位)	%	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100		
達 成 率	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
評価					
A :目標達成・目標に向けて順調		A	A	A	
B :目標に向けて遅延					
C :未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1.拡大 2.維持 3.改善 4.縮小 5.終了 6.廃止		2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由		対象者の状況を確認し、継続的に訪問することにより、不安の軽減を図った。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(1) 母と子の健康づくり	記入者	今澤みつ子		
3. 施策の内容	(1) 子どもや母親の健康の確保				
4. 事業名	47 乳児家庭全戸訪問事業				
5. 事業内容	すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行う。				
6. 事業番号(再掲含む)	47				
7. 現状と課題	生後4か月までの全戸訪問を実施しているが、妊娠期の情報や出生時の状況から早期に訪問が必要な場合は、新生児期(生後28日以内)に訪問している。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		生後4か月までの乳児がいる家庭への訪問率			
指標の名称(単位)	%	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	%	100	100	100	100
実績値	%	100	100	100	
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0
評価		A	A	A	
A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由		出生児及び生後4か月までの転入児の全戸訪問(354件)を実施した。出生児については、できるだけ生後1か月以内の新生児期に訪問(98件)し、不安の軽減を図った。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(1) 母と子の健康づくり		記入者	今澤みつ子		
3. 施策の内容	(2) 食育の推進					
4. 事業名	48 食育教室					
5. 事業内容	離乳食の試食を通して離乳食の進め方を学ぶ教室を実施する(前期講習会・年6回、後期講習会・年6回)。また、食材の内容や味付けを体験してもらうことで、乳幼児期の食事が生涯の健康づくりの基盤になることを伝える。					
6. 事業番号(再掲含む)	48					
7. 現状と課題	第1子の保護者を中心に、児の個別性に合わせた指導を実施し、継続支援が必要な場合は、相談や訪問事業につないでいる。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		教室満足度				
	指標の名称(単位)	数 値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	95.8	95.1	95.6%		
達 成 率		95.8	95.1	95.6	0.0	0.0
評価		A	A	A		
A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向						
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	2:維持		
評価の理由		前期204人、後期183人が参加。教室後に継続的に支援が必要な母子には、育児相談や訪問を実施した。				
9. 備 考						

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2. 母子の健康の確保と増進	担当課等名	教育施設・給食課		
2. 施策の基本的方向	(1) 母と子の健康づくり	記入者	横山憲一		
3. 施策の内容	(2) 食育の推進				
4. 事業名	49 学校給食の充実				
5. 事業内容	学校給食施設・設備の計画的な改善、衛生、地場産の食材利用、栄養管理を進めるなど学校給食の充実に努める。 児童への給食提供及び円滑な調理作業の実施と安全管理・衛生管理を行うために、学校給食調理等における備品の古い機種(老朽化)との入れ替えを行う。 成長期にある中学生に、栄養バランスのとれた食事を提供できるよう中学校給食の実施を目指し検討する。				
6. 事業番号(再掲含む)	49				
7. 現状と課題	学校給食の衛生・栄養管理を行い、食育及び給食指導のために各小学校に栄養士を配置する。安全性確保のため、学校給食施設の計画的な改善に必要な予算を確保する。財政状況が厳しい中、買い換えの必要な備品を修繕で対応している。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指標		給食実施日数の割合(全小学校の給食実施延べ日数／全小学校の給食予定延べ日数)			
計画値	指標の名称(単位)	数値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
	%	100	100	100	100
実績値	% %	100	100	100	
		100.0	100.0	100.0	0.0
達成率		100.0	100.0	100.0	0.0
評価		A	A	A	
A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由		学校給食を安全かつ円滑に実施するため、運営上必要な施設設備維持管理の充実と食中毒防止の強化を図った。また、学校給食の質の向上を目指し、給食従事員への研修会の開催、県主催の研修会等への参加を図った。磁器食器破損分の補充、給食従事員に対し、月2回の検便検査を実施した。			
9. 備考		旭小学校については、平成29年度の3学期において、給食調理室の水道不具合により、自校調理による給食提供ができない期間が発生したため、当初の6日間、保護者弁当を持参していただき、ミルクのみを提供するミルク給食を実施した。その他、19日間、民間調理業者へ委託し、デリバリーランチ方式による給食提供を実施した。実績値100%の根拠については、保護者弁当を実施した期間にミルク給食を実施していただき、実績値を100%とした。			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	学校教育課 子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	(1) 母と子の健康づくり	記入者	森脇誠潔			
3. 施策の内容	(3) 思春期保健対策の充実					
4. 事業名	50 思春期の保健対策の強化					
5. 事業内容	電話相談等を中心に対応を図る。 学校における性教育の充実を図るために、必要に応じて指導・助言を行う。					
6. 事業番号(再掲含む)	50					
7. 現状と課題	学校教育課:複雑な家庭環境下の相談事例が漸増している。また、学校における性教育については、学習指導要領に則り充実が図られるよう指導・助言を行っている。 子育て支援課:相談希望時に対応をしている。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		相談対応率				
指標の名称(単位)	% 計画値	数 値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
実績値	% 達成率	100	100	100	100	100
		100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
評価	A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向	A	A	A		
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持		
評価の理由	学校教育課:教育委員会の相談事業として受けた相談の中に思春期特有の悩みを持つ保護者からの相談がある場合は、それぞれのケースに配慮して対応している。 子育て支援課:電話等の相談があった場合は、保健師等が対応することとしている。					
9. 備 考						

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2. 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	(1) 母と子の健康づくり	記入者	秋庭浩子			
3. 施策の内容	(4) 不妊に対する支援					
4. 事業名	51 特定不妊治療費補助事業					
5. 事業内容	医療保険が適用されず高額の医療費がかかる体外受精及び顕微授精に要する費用の一部を助成する。					
6. 事業番号(再掲含む)	51					
7. 現状と課題	神奈川県が「不妊治療に悩む方への特定治療支援事業」を実施しているが、若年層の収入が少ない家庭も多い。少しでも家庭への負担を軽減させる必要があるため、県の事業への上乗せ助成を行っている。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指標		受給資格があると思われる者に対しての周知率、助成対象者数				
		数値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値	%	100	100	100	100	100
	人	30	30	30	30	30
実績値	%	100	100	100		
	人	44	38	41		
達成率		100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
		146.7	126.7	136.7	0.0	0.0
評価		A	A	A		
A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向						
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		1:拡大	2:維持	2:維持		
評価の理由		平成25年度の制度開始以降、毎年度コンスタントに申請があり、内容を精査のうえ全てに対応できている。				
9. 備考						

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2. 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(1) 母と子の健康づくり	記入者	秋庭浩子		
3. 施策の内容	(5) 不育に対する支援				
4. 事業名	52 不育症治療費補助事業				
5. 事業内容	医療保険が適用されない不育症治療に要する費用の一部を助成する。				
6. 事業番号(再掲含む)	52				
7. 現状と課題	不育症治療費助成事業については、若年層の収入が少ない家庭も多い。少しでも家庭への負担を軽減させる必要がある。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指標		受給資格があると思われる者に対しての周知率、助成対象者数			
指標の名称(単位)	数値				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値 %	100	100	100	100	100
計画値 人	2	2	2	2	2
実績値 %	100	100	100		
実績値 人	0	0	0		
達成率	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
評価	A:目標達成・目標に向けて順調	A	A	A	
	B:目標に向けて遅延				
	C:未実施・廃止の方向				
今後の方向性	1:拡大	2:維持	2:維持	2:維持	
2:維持	3:改善	4:縮小	5:終了	6:廃止	
評価の理由	助成対象者数の実績としてはなかったものの、必要とする方へは医療機関を通じて周知がなされており、助成制度を設けておくことに意味があるという評価を外部からも頂戴しているという状況を踏まえ、A評価とした。				
9. 備考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2. 母子の健康の確保と増進	担当課等名	健康・スポーツ課			
2. 施策の基本的方向	(2) 保健医療の充実	記入者	嶺 八千代			
3. 施策の内容	(6) 小児医療の充実					
4. 事業名	53 初期救急医療確保対策事業					
5. 事業内容	休日の急患に対し、適切な医療が受けられるようにするために、茅ヶ崎医師会と契約を結び、輪番制により診療を提供する。					
6. 事業番号(再掲含む)	53					
7. 現状と課題	町内の12医療機関による輪番制である。町内の医療機関で対応できる反面、当番医により診療科目が異なるため、受診状況に差が生じている。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指標		休日の急患に対する対応率				
計画値	指標の名称(単位) %	数値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	100	100	100	100	100	
実績値	% 達成率	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
評価	A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	A	A	A		
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持			
評価の理由	当番となった医療機関で対応できていた。(全受診1,456件中、小児科受診513件)					
9. 備考						

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学校教育課		
2. 施策の基本的方向	(1) 学校教育の充実	記入者	森脇誠潔		
3. 施策の内容	(1) 確かな学力、豊かな心や健やかな体の育成				
4. 事業名	54 「生きる力」の育成事業(小学校・中学校)				
5. 事業内容	校内研究への補助や、地域協力者への謝礼、芸術鑑賞事業の補助を通して、児童又は生徒の「生きる力」の育成を推進する。				
6. 事業番号(再掲含む)	54				
7. 現状と課題	校内研究や地域協力者への謝礼、芸術鑑賞事業への補助を通して、教育活動の充実が図られ、「生きる力」の育成が推進されている。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		校内研究の成果を実践報告により目的の達成度をABCの3段階で評価する。A=2、B=1、C=0と数値化し、次のように設定する。 小学校: $2 \times 5 = 10$ 、中学校: $2 \times 3 = 6$			
計画値	指標の名称(単位)	数 值			
		27年度	28年度	29年度	30年度
	小学校	8	8	8	8
	中学校	4	4	4	4
実績値	小学校	10	10	10	
	中学校	6	6	6	
達 成 率	125.0	125.0	125.0	0.0	
	150.0	150.0	150.0	0.0	
評価					
A :目標達成・目標に向けて順調		A	A	A	
B :目標に向けて遅延					
C :未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1.拡大 2.維持 3.改善 4.縮小 5.終了 6.廃止		2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由		寒川町立小・中学校では、各校の実態に応じた校内研究に取り組み、教育活動の充実を図っている。また、「地域のせんせい」や芸術鑑賞を通して、「生きる力」の育成についても成果が出ている。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学校教育課		
2. 施策の基本的方向	(1) 学校教育の充実	記入者	森脇誠潔		
3. 施策の内容	(1) 確かな学力、豊かな心や健やかな体の育成				
4. 事業名	55 教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校)				
5. 事業内容	情報化に対応した教育実現のため、教育用コンピュータの整備を推進し、その活用を図る。				
6. 事業番号(再掲含む)	55				
7. 現状と課題	小中学校のコンピュータ教室に、児童生徒1人1台のコンピュータを整備し、情報化に対応した教育の充実を図る。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		コンピュータ教室におけるコンピュータ1台に対する児童生徒の割合			
指標の名称(単位)	計画値	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
人	1	1	1	1	1
実績値	人	1	1	1	1
達 成 率	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
評価	A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	A	A	A	
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	1:拡大	1:拡大	1:拡大	
評価の理由	寒川町小・中学校のコンピュータ教室には、1人1台コンピュータを設置し、教育活動に活用している。平成32年度に実施される新学習指導要領に対応すべく整備について検討していく。				
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学校教育課		
2. 施策の基本的方向	(1) 学校教育の充実	記入者	森脇誠潔		
3. 施策の内容	(1) 確かな学力、豊かな心や健やかな体の育成				
4. 事業名	56 教育相談事業				
5. 事業内容	不登校や様々な問題を抱えている家庭に対して、児童精神科医師、心理士、訪問相談員、学生相談員等による相談活動を行い、児童生徒及び保護者の心の安定を図り、よりよい学校生活を送らせるために支援を行う。				
6. 事業番号(再掲含む)	56	58	75		
7. 現状と課題	相談内容が多様化しており、よりきめ細かい対応が求められている。不登校の数は中学校になると増加している。中学生へのきめ細かいケアが必要である。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		相談児童・生徒の寒川町相談指導教室へ通室できるようになった児童・生徒の割合			
計画値	指標の名称(単位) % 達成率	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
	50	50	50	50	50
実績値	% 達成率	31	21	32	
		62.0	42.0	64.0	0.0
評価 A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向		B	B	B	
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		3:改善	3:改善	3:改善	
評価の理由		寒川町相談指導教室では、「つながる」ことをテーマに、主として長期欠席の児童・生徒の状況を在籍校や関係機関と情報共有を行い、受け入れ体制を整えている。個の状態に応じたよりきめ細かい相談、指導などの対応を行っている。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学校教育課		
2. 施策の基本的方向	(1) 学校教育の充実	記入者	小林くみ		
3. 施策の内容	(2) 信頼される学校づくり				
4. 事業名	57 教職員の資質向上事業				
5. 事業内容	児童・生徒の「生きる力」を育成するため、指導する教職員の資質向上を図る。(町研修会及び教育研究員研究会の充実を図る。)				
6. 事業番号(再掲含む)	57				
7. 現状と課題	学習指導要領が改訂され、完全実施となっている中で、急速に進展し続ける社会からは、児童生徒の21世紀を生き抜くための力の育成が求められており、学校に期待される役割と教員に求められる資質能力の向上は重要である。今後も教職員が「学び続ける」ためには、学校教育を取り巻く喫緊の課題に対する研究や実践的指導力の向上のためなどの研修を継続および充実させる必要がある。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		教職員研修会、教育講演会、教育研究員研究会の実施回数			
計画値	回	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値	回	22	22	22	22
		100.0	100.0	100.0	0.0
達 成 率		A	A	A	
評価		A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向			
今後の方向性		1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	
評価の理由		社会が激しく変化し、教育をめぐる課題が山積している。これからの中を生き抜く子どもたちに必要な力を身につけさせるためには、教職員自らが学び続けなければならない。情報モラルの育成、学力向上に対する研究、国際化を受けた小学校外国語活動、英語の授業研究、支援を必要とする子どもたちへ関わり方など、多岐にわたる喫緊の課題について研究し、教育の資質向上を行うことができた。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	教育総務課		
2. 施策の基本的方向	(2) 幼児教育の充実	記入者	奥谷浩二		
3. 施策の内容	(1) 幼児教育の充実				
4. 事業名	59 おはなしの会				
5. 事業内容	子育てサロンなどと連携して、読み聞かせを行う。				
6. 事業番号(再掲含む)	59				
7. 現状と課題	ボランティアの固定化が進み、参加者も固定化している。これからは、スキルアップを図る研修と新たなボランティアの養成が求められる。また、事業の周知を充実させることも課題となっている。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		講座実施回数、事業参加人数			
指標の名称(単位)	数 値				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値 回	54	50	50	50	50
計画値 人数	300	300	300	300	300
実績値 回	48	48	48		
実績値 人数	386	277	272		
達 成 率	88.9	96.0	96.0	0.0	0.0
	128.7	92.3	90.7	0.0	0.0
評価 A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向	A	A	A		
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持		
評価の理由	北部公民館で、毎月第1・3土曜日及び夏休み、南部公民館で、第2金曜日、第4土曜日に開催している。開催回数としては、読み聞かせボランティアの協力により昨年度並みに開催しており、参加者も昨年度同程度。H29から指定管理制度を導入し、南部公民館においては、参加者数増に向け、他の事業と同時開催とする取り組みも始めている。				
9. 備 考	北部公民館 おはなし図書館18回 " 夏休みおはなし図書館9回 南部公民館 おはなし広場(幼児)11回 " おはなし広場(小学生)9回 " 読み聞かせ & クラフト教室1回				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3. 教育環境の整備	担当課等名	保育・青少年課		
2. 施策の基本的方向	(3) 家庭や地域の教育力の向上	記入者	亀井真由美		
3. 施策の内容	(2) 地域の教育力の向上				
4. 事業名	62 青少年指導員活動事業				
5. 事業内容	青少年指導員を置き、学校及び子ども会その他関係機関との連携により青少年の健全育成を行う。				
6. 事業番号(再掲含む)	62				
7. 現状と課題	研修等を行い青少年指導員の更なる資質向上を図る。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		会議や研修に参加した人数			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値	人	30	30	30	30
	人	31	27	69	
達 成 率		103.3	90.0	230.0	0.0
評価		A	A	A	
A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止			2:維持	2:維持	
評価の理由		県主催の研修会(9名)、子ども会派遣(4名)、青少年問題協議会研修(2名)、自主研修(54名)に参加し、スキルアップを図った。今後も研修会等は資質向上のため、積極的に取り組んでいきたい。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	協働文化推進課		
2. 施策の基本的方向	(3) 家庭や地域の教育力の向上	記入者	北村菜津美		
3. 施策の内容	(2) 地域の教育力の向上				
4. 事業名	63 さむかわゆうゆう学園事業				
5. 事業内容	学校週5日制により、地域で子どもを育てていくことが大切なものとなってきたことから、公民館等で行っている子ども向け事業を「ゆうゆう学園」として体系化、週末を利用した子ども達の体験活動を推進する。				
6. 事業番号(再掲含む)	63				
7. 現状と課題	各課協力の下、ゆうゆう学園対象事業を拡大していく。周知に力を入れ、各年度の修了証申請者数の増を目指す。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		文化事業に通算10回の参加者に対する修了証の交付者数			
	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	人	40	40	40	40
実績値	人	45	30	39	
達 成 率	達成率	112.5	75.0	97.5	0.0
評価	A :目標達成・目標に向けて順調	A	A	A	
	B :目標に向けて遅延				
	C :未実施・廃止の方向				
今後の方向性					
1:拡大					
2:維持					
3:改善					
4:縮小					
5:終了					
6:廃止					
評価の理由		修了証交付者数としては計画値に達しなかったものの、個々の対象事業への参加人数は一定程度いることから、子ども達の週末の体験活動が推進出来ていると考える。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	福祉課		
2. 施策の基本的方向	(1) バリアフリーのまちづくり	記入者	原征大		
3. 施策の内容	(1) 子育てバリアフリー環境の整備				
4. 事業名	64 公共施設のバリアフリー化				
5. 事業内容	公共施設のバリアフリー化を推進するための情報提供を行う。				
6. 事業番号(再掲含む)	64				
7. 現状と課題	公共施設のバリアフリー化を推進するための情報提供を行う。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		国・県から法改正等の情報提供があった場合に、町から関係機関等へ周知しているため、町での指標の設定はできない。			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値					
達 成 率					
評価					
A : 目標達成・目標に向けて順調					
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止					
評価の理由					
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	道路課		
2. 施策の基本的方向	(1) バリアフリーのまちづくり	記入者	彦坂直矢		
3. 施策の内容	(1) 子育てバリアフリー環境の整備				
4. 事業名	65 道路歩道等整備事業				
5. 事業内容	歩行者の安全対策を目的にした歩道整備や未舗装道路の道路改良を行い、安全で快適な生活を確保する。				
6. 事業番号(再掲含む)	65				
7. 現状と課題	緊急度の高い路線の歩道整備を推進するための事業費の確保、また、都市計画道路宮山線の進捗に併せ、宮山倉見13号線、宮山50号線外の用地測量や用地取得等を進め整備(工事)していく必要がある。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		歩道設置及び未舗装道路整備延長			
	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	m	0	85	128	155
	m	0	171	226	
達 成 率		201.2	176.6	0.0	0.0
評価 A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向		A	A	A	
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由		目標にむけて、計画に対して前倒しに事業を行っている。			
9. 備 考		未舗装道路の道路改良を226.0m実施した。			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	都市計画課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり	記入者	遠藤美緒菜		
3. 施策の内容	(1) 安全な道路交通環境の整備				
4. 事業名	66 住環境整備推進事業				
5. 事業内容	良質な賃貸住宅を探している人に公的住宅募集情報を提供とともに、良好な居住環境の形成に向けた情報提供を行う。 また、同時に高齢者、障害者、外国人、子育て世帯の入居を受け入れる民間賃貸住宅(安心賃貸住宅)の情報提供を行う。				
6. 事業番号(再掲含む)	66				
7. 現状と課題	公的優良住宅募集情報を窓口にて配布。 多くの人に、情報提供できるようにしていく必要がある。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		公的賃貸住宅入居募集情報(あんしん賃貸住宅を含む)の提供			
計画値	指標の名称(単位) 回	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
	6	6	6	6	
実績値	回	4	4	4	
達 成 率		66.7	66.7	66.7	0.0
					0.0
評価	A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	A	A	A	
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由	随時県からの情報を窓口にて提供している。				
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	都市計画課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり	記入者	桑原竜二		
3. 施策の内容	(1) 安全な道路交通環境の整備				
4. 事業名	67 路線バス等の利用環境の充実				
5. 事業内容	子ども、子ども連れの親など誰もが安心して利用できる環境を整えると共に、ニーズにあった運行ルートの設定を行う。				
6. 事業番号(再掲含む)	67				
7. 現状と課題	路線バスは、茅ヶ崎駅を起点とする路線が主だったが、海老名市と連携を図り寒川駅、海老名駅間の路線の実証運行を開始した。藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町で連携し新たな路線が導入できるよう検討する。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		新規路線の導入累計			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値	路線	1	1	2	2
	達成率	100.0	100.0	50.0	0.0
評価	A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向	A	A	B	
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由	平成30年度導入に向け、関係市、交通事業者と協議を行っているが、交通事業者との協議が難航し、計画に遅れが出ている。				
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	保育・青少年課 町民安全課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり	記入者	亀井真由美		
3. 施策の内容	(2) 安心して外出できる環境の整備				
4. 事業名	68 安全・安心パトロール活動の推進				
5. 事業内容	寒川町PTA連絡協議会が実施する「こども110番パトロール」を支援し、青少年指導員によるパトロールを実施する。 防犯アドバイザーによる定期的なパトロールを実施する。				
6. 事業番号(再掲含む)	68	70			
7. 現状と課題	パトロールにあたり、効果的な時間帯や重点地域などを検討する。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		青少年指導員:実施回数 防犯アドバイザー:実施日数			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
回(青少年指導員)	7	7	7	7	7
日(防犯アドバイザー)	141	230	230	230	230
実績値	回(青少年指導員)	7	7	7	
	日(防犯アドバイザー)	169	138	242	
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0
		119.9	60.0	105.2	0.0
評価	A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向	A	A	A	
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	1:拡大	2:維持	2:維持	
評価の理由	保育・青少年課:時期も考慮し、夏休み前(7月)、夏休み中(7月、8月)、10月、11月、冬休み中(12月)、春休み中(3月)に予定どおり実施できたため。 防犯アドバイザー・防犯相談員:祝日を除いてほぼ毎日活動し、通学路や不審者情報があつた場所を含めパトロールを実施することで、犯罪抑止に貢献できていると考えるため(土曜日・日曜日も交代で勤務しているが、実績値には含んでいない)。				
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	町民安全課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり	記入者	吉田祐亮		
3. 施策の内容	(3) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進				
4. 事業名	69 交通安全活動事業				
5. 事業内容	交通安全指導や安全教育に関し交通指導員を中心にして推進する。 交通事故から子どもを守るため、新入学児童に黄色い帽子を配布する。 交通事故防止のため、町内各小学校において交通安全教室を開催する。(1年生:道路の通行方法、3年生:自転車の通行方法)				
6. 事業番号(再掲含む)	69				
7. 現状と課題	各小学校へ黄色い帽子の必要性について周知し、着帽率を上げるよう呼びかける。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		交通事故件数(各年とも1~12月末までの数値)			
指標の名称(単位)	数 値				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値 件	196	190	184	178	173
実績値 件	163	162	186		
達 成 率	83.2	85.3	101.1	0.0	0.0
評価 A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向	A	A	B		
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持		
評価の理由	交通事故発生件数が前年度よりも大きく増え、目標としている計画値を越えたため、評価は「B」とした。 各小学校の新入学児童に黄色い帽子の配布、交通指導員による交通安全教室は予定通り実施できたため、今後の方向性については「2:維持」とした。				
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	教育総務課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり	記入者	奥谷浩二		
3. 施策の内容	(4) 子どもを犯罪などの被害から守るための活動の推進				
4. 事業名	71 子どもを守るための活動の推進				
5. 事業内容	子どもの防犯意識の高揚に努める他、関係団体が実施する「ハートの家」事業等を支援する。				
6. 事業番号(再掲含む)	71				
7. 現状と課題	'ハートの家'事業は、社会教育関係補助団体である寒川町PTA連絡協議会がステッカーを作成し、小学校単位PTAごとで地域に設置依頼を行っている。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		事業自体は、関係団体が実施しているため、支援のための目標指標は設定しない。			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値					
達 成 率					
評価					
A :目標達成・目標に向けて順調					
B :目標に向けて遅延					
C :未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1:拡大					
2:維持					
3:改善					
4:縮小					
5:終了					
6:廃止					
評価の理由					
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	学校教育課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり	記入者	小島康義		
3. 施策の内容	(4) 子どもを犯罪などの被害から守るための活動の推進				
4. 事業名	72 防犯対策推進事業(小学校)				
5. 事業内容	新1年生に対する防犯ブザーの貸与、子どもの安心・安全を見守る推進委員の活動推進を通して、登下校時の子どもたちの安全確保を図る。				
6. 事業番号(再掲含む)	72				
7. 現状と課題	児童の安全が完全に確保されたとは言えないが、登下校時の安全についての意識高揚、注意喚起を図る。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		新1年生への防犯ブザー貸与率			
	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	%	100	100	100	100
実績値	%	100	100	100	
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0
評価		A	A	A	
A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A	A	
今後の方向性		1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持
評価の理由		入学時に1年生全児童へ貸与を継続して行い、登下校時の安全についての意識高揚、注意喚起を図る。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	町民安全課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり	記入者	吉田祐亮		
3. 施策の内容	(4) 子どもを犯罪などの被害から守るための活動の推進				
4. 事業名	73 防犯灯整備事業				
5. 事業内容	町内に設置している防犯灯の適正な管理と地域からの要請に基づく計画的な設置を行う。				
6. 事業番号(再掲含む)	73				
7. 現状と課題	夜間の犯罪抑止を図り、安心なまちづくりを推進するため、地域からの要望に基づく設置と町内に設置している防犯灯の適正な管理を行う。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		防犯灯設置件数			
指標の名称(単位)	件	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	件	20	20	20	20
実績値	件	20	52	50	
達 成 率		100.0	260.0	250.0	0.0
評価	A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向	A	A	A	
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由	地域からの要望により、計画値数より多く、防犯灯を適切な箇所に設置できたため。				
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	保育・青少年課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり	記入者	亀井真由美		
3. 施策の内容	(4) 子どもを犯罪などの被害から守るための活動の推進				
4. 事業名	74 薬物乱用防止啓発事業				
5. 事業内容	青少年の薬物乱用防止を目的として、関係団体が実施する小中高校生を対象とした啓発活動を支援する。				
6. 事業番号(再掲含む)	74				
7. 現状と課題	法律で規制している薬物だけでなく、危険ドラッグなども社会問題となっている。自主講演会や町内の各種イベントに出向き、啓発活動を実施しており、その支援を町が行っている。今後は小学生への積極的な啓発も必要と考える。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		事業自体は、青少年環境浄化推進協議会が実施しているため、支援のための目標指標は設定しない。			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値					
達 成 率					
評価	A : 目標達成・目標に向けて順調				
	B : 目標に向けて遅延				
C : 未実施・廃止の方向					
1:拡大					
2:維持					
3:改善					
4:縮小					
5:終了					
6:廃止					
評価の理由					
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(2) 安全・安心まちづくり		記入者	今澤みつ子		
3. 施策の内容	(5) 被害に遭った子どもへの心のケアの推進					
4. 事業名	76 被害児童カウンセリング					
5. 事業内容	被害児童のカウンセリングを実施する(乳幼児カウンセリングは児童相談所に依頼)。					
6. 事業番号(再掲含む)	76					
7. 現状と課題	児童虐待による被害児童については、専門スタッフが関係機関と連携し、フォローを実施している。また、虐待以外のケースについては、内容によりケア体制が整った機関への情報提供を実施している。関係機関との情報の共有化・連携を更に充実していく必要がある。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		相談主訴への対応率				
計画値	指標の名称(単位) %	数 値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	100	100	100	100	100	
実績値	% 達成率	100	100	100		
		100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
評価 A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向	A	A	A			
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持			
評価の理由	町サポートネットワーク協議会を中心に児の見守りやケア体制も含め実施している。					
9. 備 考	<延べ相談件数> H27年度 H28年度 H29年度 317 411 488 ※直接児童虐待とは関係ない相談も含む。					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	保育・青少年課		
2. 施策の基本的方向	(3) 子どもの遊び場の確保	記入者	亀井真由美		
3. 施策の内容	(1) 子どもの居場所の充実				
4. 事業名	77 ふれあい塾運営事業				
5. 事業内容	学校施設を活用しながら、放課後の小学生の居場所づくり事業の充実を図り、児童の健全育成を推進する。				
6. 事業番号(再掲含む)	77				
7. 現状と課題	ふれあい塾の行き帰りも含め、児童の安全管理を更に図る。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		参加児童数			
	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	人	14,500	14,500	14,500	14,500
	人	14,287	14,918	10,771	
実績値	達 成 率	98.5	102.9	74.3	0.0
					0.0
評価		A	A	A	
A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A	A	
今後の方向性		1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持
評価の理由		天候が参加人数に大きく影響するが、登録人数は64.2%と前年度並みであることや、事業は順調に実施されており、この事業を必要とする児童の参加につながっていると考えられることからA評価とした。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	保育・青少年課		
2. 施策の基本的方向	(3) 子どもの遊び場の確保	記入者	亀井真由美		
3. 施策の内容	(1) 子どもの居場所の充実				
4. 事業名	78 放課後子ども総合プラン推進事業				
5. 事業内容	児童クラブとふれあい塾を連携するため、教育委員会と町長部局とが緊密に連携・協力を図り、関係団体等を含めた体制の構築を図る。				
6. 事業番号(再掲含む)	78				
7. 現状と課題	すべての児童を対象としていくための児童クラブとふれあい塾の連携した取り組みの実現に向け、「放課後子ども総合プラン運営委員会」を中心として、学習支援や体験活動などのプログラム、学校施設の積極的な活用等について協議し、総合的な放課後支援の充実を図ってきたが、町の財政状況を鑑み、今後検討していく。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		一体型児童クラブとふれあい塾開設校区割合			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値	開設割合	100	100	100	100
達 成 率	開設割合	100	100	100	
		100.0	100.0	100.0	0.0
評価	A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	A	A	A	
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由	町内5小学校内すべてに児童クラブ及びふれあい塾を設置しているため。				
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	都市計画課			
2. 施策の基本的方向	(3) 子どもの遊び場の確保	記入者	山仲規之			
3. 施策の内容	(2) 公園等の整備					
4. 事業名	80 公園整備等事業					
5. 事業内容	各施設の遊具の改良や、公園の整備を図る。					
6. 事業番号(再掲含む)	80					
7. 現状と課題	財政状況が厳しい中で、公園利用者の声を反映した公園整備が必要となっている。また、各公園の遊具については、適切な維持管理を行いながら、各公園の事業に合わせた配置等を検討していく必要がある。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		都市公園数				
計画値	箇所	数 値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
実績値	箇所	40	41	41	41	41
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
評価		A	A	A		
A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向		A	A	A		
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	2:維持		
評価の理由		平成28年度に計画値が達成され、公園数を維持できているため。				
9. 備 考						

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(3) 子どもの遊び場の確保	記入者	秋庭浩子		
3. 施策の内容	(2) 公園等の整備				
4. 事業名	81 児童遊び場の整備				
5. 事業内容	子どもが安心して遊べるような児童遊び場の点検・整備を進める。				
6. 事業番号(再掲含む)	81				
7. 現状と課題	法的な位置づけのない「児童の遊び場」については、遊具の充実は困難な状況となっている。また、遊具が老朽化していることから、修繕や撤去等遊具のあり方について検討する必要がある。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		安全基準による点検回数と目視等による点検回数			
	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	基準:回	1	1	1	1
	目視:回	3	3	3	3
実績値	基準:回	1	1	1	
	目視:回	3	3	3	
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0
		100.0	100.0	100.0	0.0
評価		A	A	A	
A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	3:改善	
評価の理由		現在町内に10箇所あり、昭和50年代に設置した遊具も多く、老朽化が進んでいるため、全てについて早急に対応することが困難な状況である。今後、遊具設置箇所の地権者や地域関係者と遊具のあり方について検討していくとともに、必要に応じて修繕の実施に努めていく。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4. 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	保育・青少年課		
2. 施策の基本的方向	(3) 子どもの遊び場の確保	記入者	亀井真由美		
3. 施策の内容	(2) 公園等の整備				
4. 事業名	82 広場等の整備				
5. 事業内容	子どもが安心して遊べるような広場の整備・維持管理を進める。				
6. 事業番号(再掲含む)	82				
7. 現状と課題	子どもが安心して遊べるよう施設の維持管理を実施している。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		目視等による点検回数			
指標の名称(単位)	回	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	回	12	12	12	12
実績値	回	12	12	12	
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0
評価		A	A	A	
A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由		職員が青少年広場に行ったときに点検を実施。また、隨時、管理人による確認も行っている。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5. 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(1) 児童虐待の防止	記入者	今澤みつ子		
3. 施策の内容	(1) 児童虐待の早期発見体制の確立				
4. 事業名	83 児童虐待防止のネットワーク事業				
5. 事業内容	児童虐待の早期発見、早期対応を目指し、関係機関との連携による児童虐待防止ネットワークを推進し、充実を図る。				
6. 事業番号(再掲含む)	83				
7. 現状と課題	児童虐待防止ネットワークを定期的に開催し、ケースごとの対応方法及び予防・自立支援に至るまでを関係団体で協議し対策を行っている。しかし、町が把握していないケースもあると思われ、虐待の早期発見、防止・予防については、地域での協力体制を更に充実していく必要がある。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		代表者会議と実務者会議の開催回数 個別ケース検討会議の開催回数			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
	回(代表者会議)	3	3	3	3
	回(個別ケース会議)	6	6	6	6
実績値	回(代表者会議)	3	3	3	
	回(個別ケース会議)	6	6	6	
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0
		100.0	100.0	100.0	0.0
評価	A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向	A	A	A	
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	1:拡大	1:拡大	2:維持	
評価の理由	児童虐待の早期発見、防止・予防については、地域での協力体制を密にしていく必要がある。H29年度から子育て支援課内に子育て世代包括支援センターを設置し、母子保健事業と子育て支援施策との一体的な提供をするとともに、要保護児童対策調整担当者(保健師等)を置き、早期発見やきめ細やかな対応を実施している。				
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(2) ひとり親家庭への支援	記入者	秋庭浩子		
3. 施策の内容	(1) ひとり親家庭への自立支援の推進				
4. 事業名	86 児童扶養手当				
5. 事業内容	18歳到達年度末までの児童(児童に障がいがある場合は20歳未満)を養育しているひとり親家庭等に手当を支給する。				
6. 事業番号(再掲含む)	86				
7. 現状と課題	実施主体は神奈川県。町は受給資格者から提出された書類の確認と、県との間で書類の経由事務を行う。町の予算措置は郵送料のみ。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		受給資格者数(神奈川県所管事業のため、町の裁量による目標設定は不可)			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値	受給資格者数(人)	382	377	374	
	うち未受給(人)	45	49	43	
達 成 率					
評価	A :目標達成・目標に向けて順調				
	B :目標に向けて遅延				
	C :未実施・廃止の方向				
今後の方向性					
1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止					
評価の理由					
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5. 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	(2) ひとり親家庭への支援	記入者	秋庭浩子			
3. 施策の内容	(1) ひとり親家庭への自立支援の推進					
4. 事業名	87 ひとり親家庭等医療費助成事業					
5. 事業内容	ひとり親家庭等の人が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自己負担額を助成する。(所得制限有り)					
6. 事業番号(再掲含む)	87					
7. 現状と課題	財政状況及び近隣他市町の動向を踏まえながら、一部負担金の導入について検討が必要(神奈川県補助事業。県は平成21年1月から一部負担金を導入)。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		助成対象者数				
指標の名称(単位)	計画値	数 値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
人	850	850	850	850	850	
実績値	人	780	755	903		
	達 成 率	91.8	88.8	106.2	0.0	0.0
評価	A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	A	A	A		
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持		
評価の理由	ひとり親家庭は、自立支援に向けた施策が不可欠であり、子どもの貧困問題においても、ひとり親家庭への対策は重要となっている。					
9. 備 考						

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(2) ひとり親家庭への支援	記入者	秋庭浩子		
3. 施策の内容	(1) ひとり親家庭への自立支援の推進				
4. 事業名	88 ひとり親家庭への各種制度のPR				
5. 事業内容	パンフレット等による各種制度のPRを実施する。				
6. 事業番号(再掲含む)	88				
7. 現状と課題	申請主義となっているため、対象者への周知徹底が重要となる。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		広報掲載回数			
	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
計画値	回	1	1	1	1
実績値	回	1	1	1	
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0
評価		A	A	A	
A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由		引き続き対象者への周知徹底を継続していく必要があり、広報のみでなく、町ホームページなどでも周知を図っていく。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5. 要支援家庭への取り組み	担当課等名	福祉課			
2. 施策の基本的方向	(3) 障がい児施策の充実	記入者	千野あずさ			
3. 施策の内容	(1) 障がい児保育の充実					
4. 事業名	90 重度障害者等医療費助成事業					
5. 事業内容	重度障がい者等の健康維持、福祉の増進を図るため、重度障がい者等の医療費の自己負担額を助成し、本人や家族の経済的負担を軽減する。					
6. 事業番号(再掲含む)	90					
7. 現状と課題	対象者のほとんどが重度障害者であり、生命に係わる事業のため必要不可欠と考えるが、町の財政状況や他市町村の動向に注視していく。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		給付率(申請に対する給付率)				
指標の名称(単位)	% 計画値	数 値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	100	100	100	100	100	
実績値	% 達成率	100	100	100		
		100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	A	A	A			
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持	2:維持	2:維持			
評価の理由	計画値どおりの実績値となっているため。 なお、対象者のほとんどが重度障害者であり、生命にも係わる事業のため必要不可欠であると考える。町の財政状況や他市町村動向にも注視しつつ、今後の方向性については維持とする。					
9. 備 考						

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5. 要支援家庭への取り組み	担当課等名	福祉課		
2. 施策の基本的方向	(3) 障がい児施策の充実	記入者	千野あずさ		
3. 施策の内容	(1) 障がい児保育の充実				
4. 事業名	91 障害児福祉手当				
5. 事業内容	障がい児に手当を支給し、対象者の福祉の向上に寄与する。				
6. 事業番号(再掲含む)	91				
7. 現状と課題	町は、申請書受付事務に関する経由事務のみを行っている。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		受給者数(神奈川県所管事業のため、町の裁量による目標設定は不可)			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値	受給者数(人)	23	20	31	
	達 成 率				
評価	A :目標達成・目標に向けて順調				
	B :目標に向けて遅延				
	C :未実施・廃止の方向				
今後の方向性					
1:拡大					
2:維持					
3:改善					
4:縮小					
5:終了					
6:廃止					
評価の理由					
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5. 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	(3) 障がい児施策の充実	記入者	加藤カヤ		
3. 施策の内容	(1) 障がい児保育の充実				
4. 事業名	92 児童発達支援事業				
5. 事業内容	障がい児の日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等の早期治療を行う。また、乳幼児の発達に関する療育相談を実施する。				
6. 事業番号(再掲含む)	92				
7. 現状と課題	ひまわり教室を継続するとともに、町の児童発達支援事業のあり方について今後検討する必要がある。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		通園児童数			
計画値	指標の名称(単位) 人	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
	人	20	20	20	20
実績値	人	20	22	19	
		100.0	110.0	95.0	0.0
達 成 率					
評価 A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向		A	A	A	
今後の方向性 1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止		2:維持	2:維持	2:維持	
評価の理由		概ね計画値に達しており、児童発達支援事業を必要としている児の利用はなされていることからA評価とした。			
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	学校教育課			
2. 施策の基本的方向	(3) 障がい児施策の充実	記入者	小島康義			
3. 施策の内容	(2) 学習援助と機会の提供					
4. 事業名	93 特別支援教育推進事業(小学校・中学校)					
5. 事業内容	特別支援学級に補助員を派遣するとともに、通常学級に在籍する児童の校外学習や遠足等の行事に介助員を派遣する。また、特別な支援をする児童のために、町内全小学校に「ふれあい教育支援員」を配置し、学習支援を行う(小学校)。 特別支援学級に補助員を派遣するとともに、通常学級に在籍する生徒の校外学習や遠足等の行事に介助員を派遣する(中学校)。					
6. 事業番号(再掲含む)	93					
7. 現状と課題	障がいは多様化、重度化している。支援員や補助員は増員を検討する。					
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		特別支援学級の担当者(補助員を含む)一人あたりが受け持つ児童・生徒数(人)				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
人	2	2	2	2	2	
実績値	人	2	2	2		
	達 成 率	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
評価	A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向	A	A	A		
今後の方向性	1:拡大 2:維持 3:改善 4:縮小 5:終了 6:廃止	1:拡大	1:拡大	1:拡大		
評価の理由	支援員や補助員の増員に向けて検討をしている。					
9. 備 考						

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み (3) 障がい児施策の充実	担当課等名 記入者	子育て支援課 秋庭浩子		
2. 施策の基本的方向					
3. 施策の内容	(2) 学習援助と機会の提供				
4. 事業名	94 特別児童扶養手当				
5. 事業内容	日常生活に著しい制限を受ける障がい状態にある児童を監護している父母、もしくは養育している養育者に対し手当を支給する。				
6. 事業番号(再掲含む)	94				
7. 現状と課題	実施主体は神奈川県。町は受給資格者から提出された書類の確認と、県との間で書類の経由事務を行う。町の予算措置は郵送料のみ。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		受給資格者数(神奈川県所管事業のため、町の裁量による目標設定は不可)			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
実績値	受給資格者数(人)	66	60	73	
	達 成 率				
評価					
A : 目標達成・目標に向けて順調					
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1.拡大 2.維持 3.改善 4.縮小 5.終了 6.廃止					
評価の理由					
9. 備 考					

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み		担当課等名	学校教育課	
2. 施策の基本的方向	(3) 障がい児施策の充実		記入者	小島康義	
3. 施策の内容	(2) 学習援助と機会の提供				
4. 事業名	95 特別支援学級の開設				
5. 事業内容	特別な配慮を必要とする児童・生徒に対し、より充実した教育の実施を図るため、未設置の学校に順次、特別支援学級を開設する。				
6. 事業番号(再掲含む)	95				
7. 現状と課題	特別な支援を必要とする児童・生徒は特別支援学級設置校の学区外にもおり、地域で学んでいくことを考えると、各校に特別支援学級を設置する必要がある。				
8. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		特別支援学級を設置している町内小・中学校の校数			
計画値	指標の名称(単位)	数 値			
		27年度	28年度	29年度	30年度
	校	7	8	8	8
実績値	校	7	8	8	
達 成 率		100.0	100.0	100.0	0.0
評価		A	A	A	
A :目標達成・目標に向けて順調					
B :目標に向けて遅延					
C :未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1:拡大					
2:維持					
3:改善					
4:縮小					
5:終了					
6:廃止					
評価の理由		特別な配慮を必要とする児童・生徒に対し、より充実した教育の実施を図るための特別支援学級を設置した。今後も維持していくことが重要と考える。			
9. 備 考					

